



2017年11月24日  
株式会社サイフューズ

## 株式会社サイフューズ、総額 11 億円の資金調達を実施

株式会社サイフューズ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：川野隆清）は、このたび第三者割当増資を実施し、事業会社及びベンチャーキャピタル等 8 社を割当先として、これまでに総額約 11 億円を調達致しました。

サイフューズは、今回の資金調達により、血管再生をはじめとする再生医療パイプラインの臨床開発及び立体組織製造技術の臨床・実用化へ向けた開発を進め、企業価値の更なる向上に努めてまいります。

引き続き、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【割当先概要】（50 音順。ファンドによる出資については運営会社を記載）

- ・ 株式会社ケイエスピー
- ・ 株式会社新生銀行
- ・ 株式会社ドーガン
- ・ QB キャピタル合同会社
- ・ ニッセイ・キャピタル株式会社
- ・ 日本ベンチャーキャピタル株式会社
- ・ 富士フィルム株式会社
- ・ 三菱 UFJ キャピタル株式会社

### 【会社概要】

株式会社サイフューズ（以下、当社）は、細胞のみから立体的な組織・臓器を作製するという独自のプラットフォーム技術を活用して、病気やケガで機能不全になった組織・臓器等を再生させ、従来の手術や治療法では満たされることのなかったアンメットニーズに応え、多くの患者さまに貢献することを目指す再生医療ベンチャーです。

当社が開発に取り組むパイプラインは、医療現場のアンメットニーズに基づいたものであり、独自のプラットフォーム技術によって創り出された細胞製品は、実際の医療現場で役立つことが期待されています。

当社は、これまでに独立行政法人科学技術振興機構（JST）、独立行政法人新エネルギー

一・産業技術総合開発機構（NEDO）及び国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）等の支援を得ながら、様々なパイプラインについて共同研究先との開発を進めております。

今後は、骨軟骨・血管・神経など様々な組織・臓器再生の再生医療パイプライン開発を進めると同時に、病気のメカニズムを解明する病態モデルや新薬の有効性・毒性・代謝等を評価する創薬スクリーニングツールとしての細胞製品の実用化も推し進めてまいります。

#### 【技術概要】

当社のプラットフォーム技術は、佐賀大学中山功一教授の九州大学医学部整形外科時代の研究成果である、生きた細胞を立体的に積層する独自の画期的な技術です。

本技術は、直径 0.5 mm 程度の細胞塊（スフェロイド）を微細な針に積層し、細胞のみで立体的な組織を作製するもので、幅広い疾患領域での再生医療及び創薬研究にブレークスルーをもたらすことが期待されています。

当社では、この技術を自動化した細胞版の 3D プリンタ（三次元細胞積層システム機器）「レジェノバ (Regenova)」を澁谷工業株式会社と共同開発し、国内外のアカデミア向けに販売し、プラットフォーム技術の技術普及を図ってまいりました。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社サイフューズ 経営管理部

所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ

Tel : 03-4455-7872

Email : [info.jp@cyfusebm.com](mailto:info.jp@cyfusebm.com)

URL : <http://www.cyfusebio.com/>

以上